

評価シート

No.

2

事業所管

都市計画局歩くまち京都推進室

1 事業名 公共交通担い手確保・定着支援事業

2 事業期間 令和6年4月 ～ 令和9年3月

[3 事業概要]

民間バス事業者の担い手不足の深刻化を踏まえ、「市民の足」である公共交通を維持・確保するため、バス事業者等が実施する運転士確保・定着の取組への支援を強化するとともに、バス運転士の魅力等を伝える情報発信を行う。

1 事業者の取組への支援（担い手確保のために行う取組及び労働環境改善への支援）

交付対象経費の総額に補助率1/2を乗じた額と補助金の限度額のいずれか低い額

○ 担い手確保の取組への支援

採用説明会や求人広告、大型二種免許取得などに要する経費
（補助上限1,000千円/社（バス協会は上限350万円））

○ 労働環境改善

休憩室、その他福利厚生に係る施設の整備などに要する経費
（補助上限5,000千円/社）

○ 住居確保（公営住宅等の改修支援）

従業員の住宅の確保に係る住宅改修に要する経費（補助上限1,000千円/戸）

2 担い手確保・定着に向けた情報発信事業

運転士の魅力ややりがいを伝えるエピソード動画の配信やラッピングバスでの広報等の
情報発信事業

[4 本事業が紐づく令和7年度政策評価結果]

政策名【20 歩くまち】 評価【B】

施策名【2001 地域特性に応じた持続可能なまちづくりを実現する公共交通ネットワークの形成】 評価【C】

< 推進施策の内容 >

人と公共交通優先のまちづくりに向け、公共交通の車内や歩行空間の混雑解消、公共交通を支える担い手不足などの課題の解決に資するよう、IoT や AI、自動運転などの新技術、移動や交通に関する新たな概念である MaaS の活用等の検討を進めるとともに、交通事業者間の連携により、持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた取組を進めていく。

中山間地域や郊外部等においては、ニーズや特性に応じた公共交通の確保に向けて、地域や交通事業者との協働による取組を実施する。

[5 事業目標]

・ 指標：民間バス事業者の採用者数の増加（前年度比増）

[6 令和6年度及び令和7年度の実績]

(令和7年度)

バス協会及びバス事業者（7社）に補助金を交付予定（R7.9時点）。

また、担い手確保・定着に向けた情報発信事業として、エピソード動画の配信及びラッピングバスでの広報を実施。



エピソード動画の配信



ラッピングバスでの広報

(令和6年度)

以下のとおり補助金を交付した。

バス協会（3,500千円）、タクシー協会（2,413千円）、バス事業者7社（6,251千円）、地域鉄道2社（2,000千円）、タクシー事業者19社（12,990千円）

- タクシー事業については、令和4年度まで法人タクシー運転者登録数は減少を続けていたが、令和5年度から増加に転じている。

（令和4年度：6,147人、令和5年度：6,295人、令和6年度：6,694人、令和7年度10月末：6,826人）

- 京都府内の大型二種免許交付件数は令和元年の275件以降、令和4年まで減少していたが、令和4年の145件に対し、令和5年は174件、令和6年は225件と、増加に転じている。

参考：民間バス事業者の採用者数 ※各社からの聞き取り

R5：116人⇒R6：180人（前年比約1.5倍）

7 予算及び決算

(千円)

令和6年度予算現額		令和6年度決算		令和7年度予算※		R7予算-R6決算
事業費	88,000	事業費	27,154	事業費(前年度繰越)	57,000	29,846
		翌年度繰越額	57,000	事業費(当初予算)	-	
【財源内訳】		【財源内訳】		【財源内訳】		
特定財源	57,000	特定財源	27,154	特定財源	57,000	29,846
[臨時交付金	57,000]	[臨時交付金	27,154]	[臨時交付金	57,000]	
[]		[]		[]		
一般財源	31,000	一般財源	-	一般財源	0	0
【内訳】		【内訳】		【内訳】		<備考>
補助金	63,500	補助金	27,154	補助金	32,500	
委託料	24,500			委託料	24,500	
<p>※ 当初予算は0円だが、令和6年度2月市会計上+全額繰越の補正予算があるため、その金額を含めて記載</p>						
8 R6 決算の不用理由 (10%以上)						
9 R6 決算とR7 予算の乖離理由 (±10%以上)		<p>バス運転士の担い手不足の深刻な状況が続いていることから、早期に、かつ、これまで以上に踏み込んだ支援を実施することで、市民生活の足である公共交通を維持・確保するため、令和6年度に実施した担い手確保の取組への支援に加え、労働環境改善、住居確保の支援を行うほか、業界全体のイメージアップや新たな担い手発掘につながる広報を行う情報発信事業を行うため増額となっている。</p>				
[10 役割分担評価]						
公共性	公益性	<input checked="" type="checkbox"/> より多くの市民に提供されるサービス (共同消費性) <input type="checkbox"/> 特定の個人または集団に提供されるサービス (個人消費性)				
	必需性	<input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要不可欠なサービス (必需) <input type="checkbox"/> 日常生活に必要不可欠でないサービス (選択)				
実施主体の妥当性	政策性	<input checked="" type="checkbox"/> 政策的意思決定を必要とするサービス (政策的) <input type="checkbox"/> 経常業務の度合いが高いサービス (経常的)				
	行政専門性	<input checked="" type="checkbox"/> 行政上の専門知識を必要とするサービス (行政専門性) <input type="checkbox"/> 行政上の専門知識を必要としないサービス (一般専門性)				

[11 政策・施策及び事業目標を踏まえた取組実績に対する評価]

本市補助を活用した、採用説明会や求人広告等の事業者の取組によって、一定数の応募者及び採用者がいることから、一定の効果があったものと考えている。

タクシー事業については、令和4年度まで法人タクシー運転者登録数は減少を続けていたが、令和5年度から増加に転じ、その傾向が続いている。業界団体からの聞取り等から、増加した要因については、令和5年5月及び令和7年8月の運賃改定による賃金引上げや、本市や国による支援を受けて実施した担い手確保の取組によるものと認識している。

一方、特にバス事業者において担い手不足の深刻化が続く中、各バス事業者が積極的に担い手確保及び定着に取り組めるよう、継続した支援が必要であり、引き続き公共交通の維持・確保に向けた取組を進めていく。

12 令和8年度の方向性

現状のまま継続

[13 参考（他都市の状況・事業効果、考慮すべき特殊事情など）]

大型二種免許取得支援や就職説明会などの担い手確保の取組については、これまでから、国・京都府・京都市での協調補助を行っているほか、国の支援がない労働環境改善に資する施設改修等については府・市で協調補助を行っている。

<国補助制度>

- 交通DX・GXによる経営改善支援事業等補助金（旅客自動車運送事業者の人材確保事業）
（補助対象事業者）バス事業者、タクシー事業者等
（補助対象事業）二種免許取得費用・広報経費・人材確保セミナー開催経費等
（補助率）1/2

<京都府補助制度>

- 京都府地域公共交通人手不足等対策事業補助金

【担い手確保の取組への支援】

- （補助対象事業者）バス事業者、タクシー事業者等
（補助対象事業）二種免許取得費用・広報経費・人材確保セミナー開催経費等
（補助率）1/2

【労働環境改善】

- （補助対象事業者）複数市町を結ぶ府内を運行する乗合バス事業者、中小民鉄
（補助対象事業）福利厚生に係る施設の整備等
（補助率）1/2

【住居確保（公営住宅等の改修支援）】

- （補助対象事業者）複数市町を結ぶ府内を運行する乗合バス事業者、中小民鉄
（補助対象事業）従業員の住宅の確保に係る住宅改修等
（補助率）1/2（補助上限1,000千円／戸）

【京都市】公共交通の担い手確保対策

1 公共交通担い手確保・定着支援事業（令和5年9月補正予算）

(1) 交通事業者及び業界団体への支援（補助金） 【予算額：37,000千円】

- ・ 補助対象者：京都市内を運行する路線バス事業者、法人タクシー事業者
京都府バス協会、京都府タクシー協会
- ・ 補助対象経費：担い手不足対策の取組に要する経費を幅広く対象
(啓発ツール作成、イベントの実施、二種免許取得の教習費など)

(2) 公共交通の担い手の重要性に関する広報面の支援 【予算額：13,000千円】

- ・ 市民生活における公共交通の担い手の重要性や魅力を発信しイメージアップを図る。
- ・ 公共交通でのエピソードを募集し、集まったエピソードを交通広告やWEB広告で発信。

2 公共交通担い手確保・定着支援事業（令和6年度当初（二次編成））

【予算額：31,000千円】

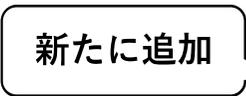
(1) 交通事業者及び業界団体への支援（補助金）

- ・ 補助対象者：京都市内を運行する路線バス事業者、法人タクシー事業者、
地域鉄道事業者、京都府バス協会、京都府タクシー協会
- ・ 補助対象経費：担い手不足対策の取組に要する経費に加え、福利厚生に係る施設整備など、労働環境改善に資する取組

【京都市】公共交通の担い手確保対策

3 バス運転士担い手確保・定着支援事業（令和7年2月補正予算）

(1) バス事業者及び業界団体への支援（補助金） 【予算額：32,500千円】

- ・ 補助対象者：京都市内を運行する路線バス事業者、京都府バス協会
 - ・ 補助対象経費：①担い手確保の取組への支援
(啓発ツール作成、イベントの実施、二種免許取得の教習費など)
 - ②労働環境改善
(休憩室など福利厚生に係る施設の整備など)
 -  ③住居確保（公営・民間）
(従業員の住宅の確保に係る住宅改修)
- ・ 補 助 率：2分の1

(2) バス運転士の魅力ややりがいを伝える情報発信 【予算額：24,500千円】

令和5年度に実施した「#もしもあの時、バス・タクシーがなかったらキャンペーン」で投稿されたエピソードを活用した動画の配信や、バス事業者への就職喚起を目的としたラッピングバスでの広報を実施（予定）